

平成十九年度総会の状況

十四回総会を終えて



当番幹事 阿部 紀一郎（五十四期）

今回のメインは「大石学」。彼はピアニストとして、定期的なライブや年間三十箇所を超えるツアーノードでファンを広げる国内屈指のメロディーメーカーです。

彼は六十四期の柴田徹也さんのブランの先輩。出演交渉は柴田氏が精力的に行つた結果、快諾を得ました。

三十年以上前に西高吹奏楽部が「吹奏楽日本一」になつたことをご存知でしょう。その育ての親である友永次郎先生を中心に「音楽」、「ブラバン」をキーワードにでつかい輪り絆が出来ています。

さて、「大石学」を迎える幹事団は、前年（平成十八年）の秋から会場探しを始めました。

毎年開催している「弥生会館」には「大石学」の望むピアノがありません。また、レンタルして運び込むことも難しい状況です。

「ピアノ」があり、百人以上収容できる会場。ネットで「ホテル宴会場」「ライブハウス」など検索、電話で「C-3以上のピアノ」を確認していきました。

結果、年末に「a mホール」を見つけ、現場確認して仮押さえ。

「調律」「テーブルの配置」「食事内容」など打ち合わせが出来たのは総会開催の約半年前でした。

それからあつという間に時間は

すぎ、総会当日です。

総会終了。早速演奏会です。曲目は「ダニーボーイ」。友永先生の曲の紹介です。

「戦地に取られた息子を偲ぶ曲です」、友永先生の優しい口調で曲の紹介。「戦争に子を出す親の気持ち」、「生きていて欲しいとの願い」、「死の報告と衝撃」、「深い絶望」、「やり場の無い怒り悲しみ」などが語られます。

涙が止まりません。

二曲目以降も解説と演奏は続きます。背景、情景のイメージとメロディー。深い感動が続きます。

「ロック」は新たな感動です。

ピアノが饒舌に訴えるのです。

「生きてるんだ！」

「大石学」のピアノと会場の皆さんの声で「ふるさと」を合唱するころには満足感がこみ上げました。

参加していただいた皆さんから、

すばらしいライブでしたね！

年齢、性別をこえて、「西高出身」という一点から拡がる絆でこのようなライブが開催できました。

友永先生は解説中に「音楽は感じる心が大きければ大きいほどその感動は深くなる」との言葉があ

りました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆けつけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、大石さんの人柄を引き出しながら、奥行きの深いジャズのおもしろさを伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんの演奏後、友永先生の伴奏による校歌斎唱をしましたが、

なんとなく照れくさかったのです

が、なぜか、いまだに高校を卒業

していました。

高校時代、校歌斎唱のときは、

ピアノの音につられて、いつにな

く格別の思いを抱きました。

大石さんの演奏後、友永先生の

伴奏による校歌斎唱をしましたが、

なんとなく照れくさかったのです

が、なぜか、いまだに高校を卒業

していました。

大石さんの演奏後、友永先生の

伴奏による校歌斎唱をしましたが、

なんとなく照れくさかったのです

が、なぜか、いまだに高校を卒業

していました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出しながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出しながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく

れました。

大石さんは下関時代、音楽

担当だった友永次郎先生（現在、

梅光学院大学准教授）の指導によ

つてプロを志したそうですが、そ

の恩師、友永先生が下関から駆け

つけられました。演奏の合間の友

永先生と大石さんとのトークは、

大石さんの人柄を引き出ながら、

奥行きの深いジャズのおもしろさ

を伝えてくれ、会場を沸かせてく



当番幹事挨拶

平成19年度
第14回総会
於：amホール(アムホール)
平成19年9月2日(日)



乾杯



ゲスト(大石氏)とともに



大石氏演奏



懇親会(年長組)



集合写真



集合写真



集合写真



集合写真



懇親会(女性組)



二次会(Pocket)



二次会(アルル)

社会福祉法人 みどりヶ丘会
理事長 甲斐敏晴(31期)

グリーン特別養護老人ホーム

入所70名

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番15号
☎072-690-3331

グリーンケアハウス

入所50人

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番3号
☎072-690-3561

ハイキング

金関文子
(30期)

満開の桜のもと
源平合戦の足跡を散策

支部行事報告

真言宗の古刹。大勢の人で賑わつ
ていました。薄いピンクの雲に覆
われたような須磨寺公園、ひとひ
らふたひら花びらが舞う。桜の
「追っかけ」をしていた私もこん
なに見事な花は初めてでした。

夕方四時頃、綱敷天満宮前にて解
散。本当に楽しいお花見でした。
仁王さんが立っている山門をく
ぐると広い須磨寺境内の桜も満開。
今年は源氏物語が生まれて千
年になるとか、「読みさして月も
出るなり須磨の巻」子規。

八八六年開基という源平ゆかりの
仁王さんが立っている山門をく
ぐると広い須磨寺境内の桜も満開。
今年は源氏物語が生まれて千
年になるとか、「読みさして月も
出るなり須磨の巻」子規。

ゴルフ

小中頼文
(29期)

「準優勝しました」

小中頼文
(29期)

かつたのかともと思う。二十七才で
結婚し男子一人の父親となりはし
ましたが、繊維関係に就職したた
めに生活は楽ではなかつた。従つ
て、勝負の厳しさに徹すること
身につけて、何事にもルールを守
ることを身上としました。六十才
にて退職し、車と自転車もやめて
朝夕約一時間犬を連れて散歩をし、
三十四年間居住していた大阪府貝
塚市内で農道の草刈や子供達の少
年野球のコーチなどを五、六年や

かと半年ほどで私も後期高齢者
の仲間入りになりますが、二年ほ
ど前から同窓会関西支部のゴルフ
会に参加するように努め、前回や
つと準優勝をいただく幸運に恵ま
れました。あと何年ゴルフができる
か分からませんが、同窓の若い
方々と楽しく一日を送りたいと思
います。あまり内容はありません
が、一度ゴルフクラブを持つて私
と話をしてもみませんか。きっと何
か得ることがあると思っておりま
す。

第十四回ハイキング	▼日時	十一月十六日(日)
▼場所	飛鳥方面	
申込先	阿部(五十四期)	
幹事	山田(五十六期)	
日時	十月十八日(土)	十時三十分~十五時
場所	大阪弥生会館	または二十五日(土)

お知らせ

旭陵関西の中の関西三四郎会
古希を迎えて小旅行

昭和九年一月に兵庫県神戸市東灘区住吉村で生まれ、昭和十三年六月の梅雨期に六甲山の山津波に遭遇。昭和十六年四月に住吉小学校に入校するも、同年十二月八日に大東亜戦争が勃発、十二月二十四日に親の転勤で山口県下関市に行き、昭和十七年一月文関小学校に転入する。五年生の冬に戦争が激しくなり、父親の実家のある安芸の宮島、岩国錦帯橋、そして主目的地を周防大島に決めました。瀬戸内海に浮かぶ周防大島は、六十五歳以上の住民が五〇%を超える、「高齢者の絆と自立」で有名な生涯現役の島として「日経マスターーズ」紹介されたことのある三四郎文庫の名前でささやかながら蔵書の一部として書籍を寄贈させていただき大変喜ばしい年でした。

本年も、我々は古希を迎えまたまためでたい節目の年となり、関西在住の同期の仲間六名で梅雨入り直前の五月三十日から六月一日まで二泊三日の小旅行を企てました。人は老いると帰郷本能が刺激されたり、青少年時代の行動に懐かしさを感じ何となく足跡をなぞつてみたい心境になるとの独断と偏見の持論から、目的地を、何度も



吳市大和ミュージアム前(中央が筆者)

村上法律事務所

弁護士 村上充昭 (39期)
弁護士 村上恵美子

事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目6番19号
北ビル2号館5階502号室
TEL 06(6365)7005 FAX 06(6365)0819

社会福祉法人
恩賜財団大阪府済生会吹田病院

恩賜財団大阪府済生会千里病院

(医療機能評価認定病院)

安野洋一 (33期)

〒564-0013 吹田市川園町1の2
TEL 06(6382)1521(代)

第12回
ハイキング
秋の奈良散策
2007年11月11日



奈良公園昼食



東大寺参道



鹿の襲来



ならまち散策



志賀直哉旧邸にて



春鹿酒造にて

第13回
春のハイキング
神戸/須磨
満開の桜の下
源平の歴史を訪ねて
2008年4月6日



楽しみの昼食



幹事の旗の回りに集合



満開の桜須磨浦公園



展望台で一眼



須磨寺集合写真



表彰式(優勝: 奥田一夫氏・43期)



第16回 参加者一同

万ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勤 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪548
TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204
携帯 090-1447-8368
URL : <http://www.nds-mente.co.jp>
E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビナートまで明日の安全を見つめています。

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店 (神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉) (株)味鉄

〈直営レストラン〉

・舞子・三宮・本山・西宮等神戸一円10店舗

・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。
お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役
舞子店長 安田好幸 (43期)

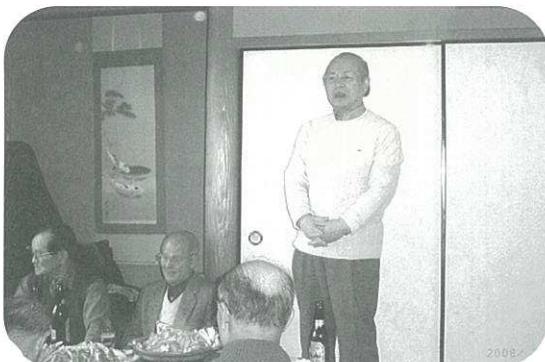
舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)
TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>



車窓は雪景色



列車にて(左が筆者)



支部長挨拶



会食



乾杯



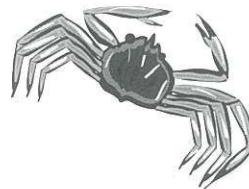
いつも豪華な「かに料理」



佐津駅にて何故か4人



大乗寺にて



くじらクリーニング

神戸市委託
病児保育施設 プエリ

院長 片山 啓(48期)

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号
TEL 078(802)5990 TEL 078(802)5996

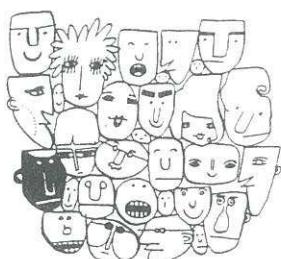
保育施設ピピオ

NPO法人 キッズネスト

理事長 片山 啓(48期)

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号
TEL・FAX 078(802)5992

旭陵同窓会の皆さま
ポケットです
よろしくお願ひいたします



PIANO BAR
Pocket

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地1-11-19(北新地スタービル9F)

第5回 日帰り旅行

2008年2月3日(土)
於 城崎・佐津・香住

うれし城崎
身にしみじみと湯の香り
都はなれた湯の都

城崎温泉かに日帰りツアーは、まさに白鳥省吾の詩の気分でした。総勢二十二名、朝早く大阪駅を出発し、三田市を通過する頃には、一面銀世界。

道中は、日本酒、ワイン、ビールにおつまみ、聞きしに勝る宴会列車に驚くものの、すぐに皆渦の中へ巻き込まれていきました。

城崎で普通電車に乗り換え、二つ先の佐津駅にて下車。雪は、す

でに小雨に変わっていました。

(五十五期)

中嶋 千登世

方々は、いろいろとご配慮下さっているようです。今回も、

文化的な啓蒙をはかる試みが盛り込まれていました。

芸術鑑賞グループは、香住大乗寺へ、丸山応挙の襖絵を見に、一足早く出発することになりました。

立派なお寺の、豪華かつ繊細な応挙の襖絵に感激しました。仏間を開けても閉めても、松の絵がつながる構図。どの方向から見ても、人物が、自分の方を見ていると見える八方にらみの手法。奇を

てらわない数々のしかけに、日本文化の奥深さを感じました。

実は、蟹雑炊を食べ損なつて、後

一路、お迎えのマイクロバスに乗って、民宿「源助」に無事到着。

テーブルに山と積まれた蟹蟹蟹に、安堵の歓声が上がりました。幹事の方々は、いろいろとご配慮下さっているようですが、今回も、

た蟹蟹蟹に、安堵の歓声が上がりました。幹事の方々は、いろいろとご配

慮下さっているようですが、今回も、

文化的な啓蒙をはかる試みが盛り込まれていました。

さて、リピーターの先輩たちは、早くも、城崎温泉外湯めぐりに、行つておられました。

さすがに、日本らしい旅の趣

境めぐりの話をしています。

日本全国の駅舎やお城の写真を撮り続けて

みせて下さい。

さすがに、日本らしい旅の趣

境めぐりの話をしています。

十九年度
関西支部総会に出席して

友永次郎

(梅光学院大学・元西高教諭)

関西旭陵同窓生の皆様、お世話になりました

お世話係の柴田徹也氏は下関西



ピアノ演奏中の友永先生(19年度総会にて)

高吹奏樂部歴代五本の指に入る名部長で、どんな場面でも全く泣き言を漏らさない親分肌でした。彼が案内したライブハウスは私が東京にいた頃、偶に潜入したアングラ劇場のような雰囲気で、「オ」、内心危惧していました。東京では考えられない会場だったのです。

下関出身の方々とはい、本当に軟性と許容量。ところが何でも吉本風にしてしまう関西人とは全く異なる真剣さは芯から染まつていません。

関西人だと感心したのは、その柔軟性と許容量。ところが何でも吉本風にしてしまう関西人とは全く異なる真剣さは芯から染まつていません。

アングラ劇場で始まつたコンサートは全員がピアノに集中し、真

つ暗な中で目だけが輝いていまし

た。今でも絵に描けるほど焼き付

いています。

コンサートの樂屋で大石学と

「雰囲気がいいですね、

集中出来る!」

「そうなんだー」。
「私はそんな風には聴こえんよ」
「そりやこっちがピアノに合わす
んですけど」

「私はそんな風には聴こえんよ」
「何処に行つても覺悟はしている
けど」

「私はそんな風には聴こえんよ」
「そりやこっちがピアノに合わす
んですけど」

「そうなんですよ」。

「わー彼はこんなピアノであれば
どのものを弾いたのか」とプロの

凄さをさまざまと見せ付けられ

「彼は凄いピアニストだ」と改め

てその思いだけが全身を走りながら下手な伴奏をしていました。メ

ディアに乗ると一斉に飛びつく日が絵を習っている「岡田アトリエ」

本人は多いのですが、本物を見極められる感性は流石に旭陵同窓生だと深い喜びが迫りました。実を取つた柴田君のアングラ会場は誰もが集中でき、すばらしい選択だつた

ように想います。

私のキヤツチフーズは「アンサンブルは思いやり」人生も音楽も氣を配り、周りを聴く。日本人は

どうして自分を活かしたように思

います。

例年より作品が二割増加したので展示スペースが窮屈であった。

私は「ボッロメオ宮殿」(イタリア、コモ湖の島にある。)と「ブルージュ」(ベルギー)の水彩画

二点を出した。何れも旅行したところである。

最初の約四月間は色々なものを

動機は絵が好きであったことと、自分の生きた証を作品として残したいと考えたことによる。

年六月で、二年になる。

岡田先生と四一名の生徒が七一点の作品を出品した。

高槻市立総合市民交流センターで、五月八日から十三日まで、私が絵を習っている「岡田アトリエ」に入会したのは一昨

年の六月で、二年になる。

の展覧会が開催された。

岡田先生と四一名の生徒が七一点の作品を出品した。

「わー彼はこんなピアノであれば
どのものを弾いたのか」とプロの

凄さをさまざまと見せ付けられ

「彼は凄いピアニストだ」と改め

「わー彼はこんなピアノであれば
どのものを弾いたのか」とプロの

下田先生の横顔

津森和治（四十三期）

下田先生が亡くなつたという。すでにとつくに定年を迎えて山陰の郷里に引つ込んでいるとは聞いていたが、こうしてまたひとり恩師が逝つたことになる。

下田先生は通称ピントアと皆から呼ばれていて、わたしたちの高校の英語のリーダーの教師だつた。ピントアのリーダーは厳格で徹底していた。その風貌からして、力ソリックの牧師をさえ思わせたものであつた。

生徒だつたので特別に近づきもし
なかつたが、ピントの名前は全校
に知れ渡つていて、名物教師の筆
頭であつた。

ヒンタは文字通り清貧であった。いつも糊の効いたワイシャツにグレーのズボンをはいていたが、ときにワイシャツにはほころびをつくろつたあとが明らかにあつた。そのことは、また彼の生き方、生活の姿勢をあらわしてゐた。わたしたちは当時同じ山陰線で通つており、幡生という駅で降りて、忠靈塔のある小山の脇の峠道を越えて学校まで通つていた。わたしたちはいつも数人でだらだらとした足取りで歩いていたのだが、その脇を「おい、お前らどこの高校生か」と活をいれながらさつさと追い越してゆくヒンタを覚えている。

その後ろ姿は単に急ぐというものではなく、時間を無駄にしないという姿だった。それは毎日同じ時間、同じ歩数であつたかもしれない。

ピントの授業におけるエピソードは数え切れないが、しかし、ここで彼が残した業績として図書館のこと觸れておきたい。



弁論部顧問当時の下田先生

いまはどうなつてゐるか知る由もないが、当時西高の図書館はすでに数万冊の蔵書を有していて、立派に独立した館としての機能を果たしていたのである。これは高校のレベルとしてはトップクラスではなかつただろうか。

山陰の田舎の出身中学ではそれは図書室という小部屋でしかなかつた私にとって、高校が格の違いを象徴的に示すものであつた。ピントは図書館長として相当な年数を勤めていた。それは半端なことではなく、図書館に対するつよい思い入れと情熱、そしてなによりも幅広い教養と見識がなければできないことだつた。そうして長い時間をかけて高校の蔵書を少しづつ整備していくつたのだつた。図書館がアカデミズムの象徴であつた時代のことである。

ピントの選んだリーダーのテキストには今も印象的だがジョージ・オーウェルの短編「象を撃つ」があつて、それはイギリスのインド支配の実態を描写したものだつた。そこには自分自身でもあるイギリスの警官がビルマの民衆を支配する様子が率直に書かれていた。そしてそれはまた、植民地主義への十分な自己批判にもなつていた。

当時のイギリスは必ずしも模範的な民主主義ではなく、植民地の支配国家であつたということを批判的に書くということ。それはオーウエルが知識人であることのレゾンデートルであつただろう。



旭陵同窓会関西支部役員

	氏名	期	電話番号	勤務先
支部長	安野 洋一	33	06-6382-1521	清風会吹田病院
副支部長	福田 猛彦	35	0725-50-5090	近畿ディベロップメント
"	村上 充昭	39	06-6365-7005	村上法律事務所
顧問	空谷 俊和	27	0775-88-3045	自宅
"	甲斐 敏晴	31	072-681-5717	みどりヶ丘病院
"	内藤 尚	31	072-696-6202	自宅
幹事長	末光 久	42	072-681-5717	みどりヶ丘病院
事務局長	杉 顕紹	43	06-6346-6720	東洋化成工業
会計	阿部紀一郎	54	06-6586-1053	大阪ガス
会計監査	後田 敏夫	42	06-6749-1885	鋼洋
常任幹事	門田 宰	43	06-6243-2321	光アルファクス
"	竹内 正文	44	06-6441-0130	関西経済連合会
"	上村 繁典	48	06-6748-3838	誠商會
"	中嶋 洋	49	072-690-3230	なかじま整形外科
"	来島 達夫	50	06-6375-8971	JR西日本
"	永地 英仁	52	06-6266-8039	エヌアイ帝人商事
"	大野 浩史	53	06-6244-5131	SMBCビジネス債権回収
"	田底 成智	55	06-6393-9906	中央復建コンサルタント
"	山田 浩幸	56	06-6343-3290	鴻池組
"	三戸 和子	62	06-6341-1556	大阪ニューアートクリニック
"	柴田 徹也	64	06-7668-0800	ブルデンシャル生命

関西支部事務局 〒663-8871 西宮市甲子園1番町4-1-215 杉 顯紹
TEL・FAX 0798-47-9148 e-mail: sugi@pski.mmm.ne.jp

からだにいいこと始めたい人へ!
梅田の中心「大阪駅前第一ビル」にある
日本最大級(155坪)の広~い教室で、のびのび楽しく
さあ、ごいっしょに**YOGA**しましょ!

お問い合わせは
Japan YOGA college
ジャパン・ヨガ・カレッジ大阪本校
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目3番1-800 大阪駅前第一ビル8F
TEL.06-6345-3811(代) FAX.06-6345-3816
江坂校:吹田市江坂町2丁目7-25 ビスタ江坂8F TEL.06-6192-3640
URL:<http://www.j-yoga.jp> E-mail:info@j-yoga.jp

J-YOGA式整体



山内英雄

*肩こり・五十肩・腰痛などの改善
*前屈・正座・開脚などが苦手な方

【パーソナル・ヨガ予約専用】

Japan YOGA college

- J-YOGA の普及活動
 - ヨガ教室の運営事業
 - ヨガ教室のFC事業
 - ヨガ指導者の養成教育事業
 - ヨガ講師の派遣事業

J-YOGA Future Club

- 海外ボランティア活動支援事業
 - 小学校建設支援（ラオス・カンボジア）
 - 職業訓練施設建設支援（ラオス）
 - 識字教育設備支援（カンボジア）
 - バンラン大学日本語講座奨学金支給（ベトナム）
 - 障害児教育センター建設支援（ベトナム）
 - 現地スタッフ活動資金支援（ベトナム）

では彼が残した業績として図書のことについておきたい。

当時のイギリスは必ずしも模範的な民主主義ではなく、植民地の支配国家であつたということを批判的に書くということ。それはオーヴエルが知識人であることのレゾンデートルであつただろう。

時代は六十年
安保をすぎて、
柴田翔の「され
ど我らが日々」
が芥川賞をとり
大江健三郎が
「ヒロシマノ一
ト」を発表して
いた。来日した
サルトルが知識
人の政治参加を
標榜してもいた
ベトナム戦争
は泥沼の一途を
たどりつつあり
またふたたび政
治の季節を迎え

ウエルの思想 자체を見てはいたと思われたが、学校では一番の左端にいたかも知れない。観るうえで批判的である。この経験はいつもヴェーテ、批判的にみるとかその姿を現さなかことを学んだのである。たしか高校弁論部。毎年校内で弁論を行った。それは西高の「近代知識人」が「近代知識人」方とされていた。の合間に語る世評を語るときの語り方の理的であり、ときの演出もかかって陶酔が感じられた。同時にまた窓の向見やりながら語り

昼休みや放課後キャンパスのあちこちで議論の輪は広がつた。今は亡きピンタにあらためて感謝したい。あの時代、あなた思いはほんの少しだけれどわたくしたちの内心におちてゆき、そして今もなお、その核心が残されていることを。

（説びと訂正）

11号2面、当番幹事大野靖人氏の職場名が「タツタ電線」とありました、「津田電線」の誤りです。

また、12号2面、福山康洋氏（52期）は（53期）、9面の米田康江さん（32期）は（30期）の誤りです。

お詫びをして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

◇「旭陵関西」十三号をお届けします。今回は八面構成です。二ページ少なくなるとさすがに紙面不足、同窓生の多くの声を掲載できず、不本意なできになりました。

◇昨年の総会は同窓生でピアニスト・大石さんの演奏が好評を得ました。総会の感想分にもそれが表されています。

◇津森さん（東京在住）の「下田先生の横顔」は昨年書かれたものを半分くらいに再編集していただき掲載しました。下田先生とは、昭和四十六年、三月三日大学入試に、受験生の引率で来られた時に偶然お会いしたのが最後です。

◇小中さんの回顧録、内藤さんの「絵を描いて楽しい人生を」他、こういった同窓生のいろいろな横顔を掲載していきたいと思います。次号は再度十面復活を目指します。

編集後記